

京都社会学年報

第14号
2006年12月

〈論文〉

- 防犯カメラの設置過程に関する社会学的考察
—— 商店街における調査事例から —— 朝田 佳尚
- 公立学校における在日韓国・朝鮮人教育の位置に関する社会学的考察
—— 大阪と京都における「民族学級」の事例から —— 金 兌恩
- 文化遺産保存の場における記憶のダイナミクス
—— 社会学的記憶論の再検討を通じて —— 木村 至聖
- 社会運動論の方法論的レパートリーの拡充
—— エスノメソドロジー・構築主義・分析的括弧入れによる運動研究 —— 濱西 栄司

〈書評論文〉

- グローバル化とマイノリティへの暴力
Arjun Appadurai,
Fear of Small Numbers: An Essay on the Geography of Anger,
(Duke University Press, 2006) Ernani Shoiti Oda
- 「広告における説得」
—— 社会科学的視点からの広告の説得効果へのアプローチ ——
John O' Shaughnessy and Nicholas J. O' Shaughnessy,
Persuasion in Advertising,
(Routledge, 2004) 鄭 詩姮
- 性の歴史化と現在
Jeffrey Weeks,
Making Sexual History
(Polity Press, 2000) 西村 菜美
- フロイトのセクシュアリティ論の射程
Phillippe Van Haute & Tomas Geyskens,
Confusion of Tongues: The Primacy of Sexuality in Freud, Ferenczi, Laplanche.
(Other Press LLC, 2004) 古川 直子
- オランダにおけるセックスワーカーの日常世界
Katherine Gregory,
The Everyday Lives of Sex Workers in the Netherlands,
(Routledge, 2005) 真野亜希子

〔編集規定〕

1. 本誌は京都大学大学院文学研究科行動文化学系社会学研究室の機関誌として、年1回発行する。
2.
 - 1) 本誌の編集は、「京都社会学年報」編集委員会の責任のもとに行われる。
 - 2) 編集委員会は本研究室の教官および大学院生代表者により構成される。
 - 3) 編集委員会に関するその他の細目は別に定める。
3. 本誌には、研究論文のほかに、書評論文、資料等の欄を設ける。
4.
 - 1) 本誌の投稿者は、原則として京都大学大学院文学研究科行動文化学系社会学研究室に所属する専任および非常勤の教官、ならびに大学院生・研修員、研究生とする。
 - 2) 投稿に関する細目は別に定める。
5. 論文等は、未公開のものに限る。
6. 論文等は、編集委員会によって審査され、その掲載について検討される。
7.
 - 1) 論文等の原稿は、所定の執筆要項に準拠したものに限定する。
 - 2) 執筆要項は別に定める。

目次

〈論文〉

- 防犯カメラの設置過程に関する社会学的考察 朝田 佳尚 1
—— 商店街における調査事例から ——
- 公立学校における在日韓国・朝鮮人教育の位置に関する社会学的考察 金 兌恩 21
—— 大阪と京都における「民族学級」の事例から ——
- 文化遺産保存の場における記憶のダイナミクス 木村 至聖 43
—— 社会学的記憶論の再検討を通じて ——
- 社会運動論の方法論的レパートリーの拡充 濱西 栄司 59
—— エスノメソドロジー・構築主義・分析的括弧入れによる運動研究 ——

〈書評論文〉

- グローバル化とマイノリティへの暴力 Ernani Shoiti Oda 75
Arjun Appadurai,
Fear of Small Numbers: An Essay on the Geography of Anger,
(Duke University Press, 2006)
- 「広告における説得」 鄭 詩姮 83
—— 社会科学的視点からの広告の説得効果へのアプローチ ——
John O' Shaughnessy and Nicholas J. O' Shaughnessy,
Persuasion in Advertising,
(Routledge, 2004)
- 性の歴史化と現在 西村 菜美 91
Jeffrey Weeks,
Making Sexual History
(Polity Press, 2000)

- フロイトのセクシュアリティ論の射程 古川 直子 99
Philippe Van Haute & Tomas Geyskens,
Confusion of Tongues: The Primacy of Sexuality in Freud, Ferenczi, Laplanche.
(Other Press LLC, 2004)
- オランダにおけるセックスワーカーの日常世界 真野亜希子 109
Katherine Gregory,
The Everyday Lives of Sex Workers in the Netherlands,
(Routledge, 2005)

〈執筆者紹介〉(掲載順)

インターネットが利用可能な方は、社会学研究室ホームページ ([http:// www.socio.kyoto-u.ac.jp](http://www.socio.kyoto-u.ac.jp)) をご参照ください。

朝田 佳尚

博士後期課程 1 年次

監視社会論・都市社会学・文化社会学。防犯カメラの設置過程を微細に観察することを通して、ヘゲモニックに達成される都市のあり方を検討することに加え、監視装置の導入を裏支えする、他者との関係性についての人びとの意識を取り出すことを目指している。(書評論文「社会学理論の近代性」『京都社会学年報』2004年12号)

E-mail: asada@socio.kyoto-u.ac.jp

金 兌恩

博士後期課程1年次

教育社会学、アイデンティティ論。日本の公立学校における外国人児童にかかわる教育実践やその場に参加する児童たちのアイデンティティの問題を研究している。とくに、大阪や京都の小・中学校において、在日韓国・朝鮮人児童を対象として「民族教育」を行う「民族学級」に対するフィールドワークを続けている。

E-mail: tekim@socio.kyoto-u.ac.jp

木村 至聖

博士後期過程 1 年次

文化社会学、文化遺産の社会学。18～19世紀の絵画や写真から、文化遺産保存への意識がいかんして発生してきたのかを、「廢墟趣味」をキーワードとして考察している。また現代の文化遺産保存の実態とその問題についてもフィールドワークを通して研究している。(論文「文化遺産イデオロギーの批判的検討——近代西欧の廢墟へのまなごしを手がかりに」『ソシオロジ』158号、2007年)。

E-mail: shisei@socio.kyoto-u.ac.jp

濱西 栄司

修士課程 2 年次

社会運動論・社会学方法論。とくに運動研究全体の方法的検討、トゥレーヌ学派の社会学、中範囲運動理論の洗練、社会保障/福祉領域をめぐる自助/支援運動の実証研究。(「社会運動の新しい形」『社会学ベーシックス 第2巻：社会の構造と変動』、2007年[予定]、「集会的アイデンティティから経験運動へ」『ソシオロジ』第154号、2005年)。

E-mail: cbt25360@pop21.odn.ne.jp

エルナニ・ショウイチ・オダ

修士課程1年次

エスニシティ論・移民研究。とくに日本における日系ブラジル人の研究。

鄭 詩姮

修士課程1年次

主な関心分野：メディア論、グローバリゼーション。特に、コマーシャル戦略の国際比較に興味がある。

西村 菜美

修士課程1年次

ジェンダー・セクシュアリティ研究。アセクシュアリティの社会学的位置付けに取り組む。

古川 直子

修士課程1年次

精神分析のセクシュアリティ論をもとにした、人間の共同性についての考察。

真野亜希子

修士課程1年次

教育社会学。文化的再生産論に興味がある。

京都社会学年報 第14号

2006年12月25日発行

編 集 京都社会学年報編集委員会
(編集代表 松田 素二)

発 行 京都大学文学部社会学研究室
〒606-8501 京都市左京区吉田本町
TEL 075-753-2758 FAX 075-753-2836

製 作 株式会社 田中プリント
〒600-8047 京都市下京区松原通麩屋町東入
TEL 075-343-0006 FAX 075-341-4476



この本をそのまま読むことが困難な方のために、営利を目的とする場合を除き、「録音図書」「拡大写本」等の読書代替物への媒体変換を行うことは自由です。製作の後は出版社へご連絡ください。

《Editorial Regulations》

1. This journal is an annual publication of the Department of Sociology, Graduate School of Letters, Kyoto University, Kyoto, Japan.
2. i) This journal is edited by the Editorial Board of the Kyoto Journal of Sociology.
ii) The Board consists of the professors and postgraduates of the Sociology Department.
iii) Details of the regulations of the Board are specially provided.
3. Contributions to this journal may be in the form of articles, review essays, etc.
4. i) Contributors are generally limited to professors and postgraduates of the Department of Sociology, Graduate School of Letters, Kyoto University.
ii) Guidelines for contributors are specially provided.
5. Contributions are limited to previously unpublished articles.
6. Review of contributions is carried out by the Editorial Board.
7. i) Manuscripts submitted for review must follow the writing guidelines for contributors.
ii) The writing guidelines for contributors are specially provided.

Kyoto Journal of Sociology

No.14 December 2006

ARTICLES

- | | |
|---|-----------------|
| A Sociological Study on the Processes of Installing CCTVs
in Japan based on interviews with shopping street unions in city centers | Yoshitaka ASADA |
| The Position of Korean Children's Education in Japanese Public Schools:
A Case Study of "Minzoku Class" | Tae Eun KIM |
| The Dynamic Relation between Two Kinds of Memories
in Cultural Heritage Preservation: Reconsidering the Sociology of Memory | Shisei KIMURA |
| New Methodological Repertoires in Social Movement Studies:
Ethnomethodology, Constructionism and Analytic-Bracketing | Eiji HAMANISHI |

REVIEW ESSAYS

- | | |
|--|-------------------|
| Arjun Appadurai,
<i>Fear of Small Numbers: An Essay on the Geography of Anger,</i> | Ernani Shoiti ODA |
| John O' Shaughnessy and Nicholas J. O' Shaughnessy,
Persuasion in Advertising, | Shihheng CHENG |
| Jeffrey Weeks,
<i>Making Sexual History</i> | Nami NISHIMURA |
| Phillippe Van Haute & Tomas Geyskens,
Confusion of Tongues: The Primacy of Sexuality in Freud, Ferenczi, Laplanche. | Naoko FURUKAWA |
| Katherine Gregory,
The Everyday Lives of Sex Workers in the Netherlands, | Akiko MANO |